

2017

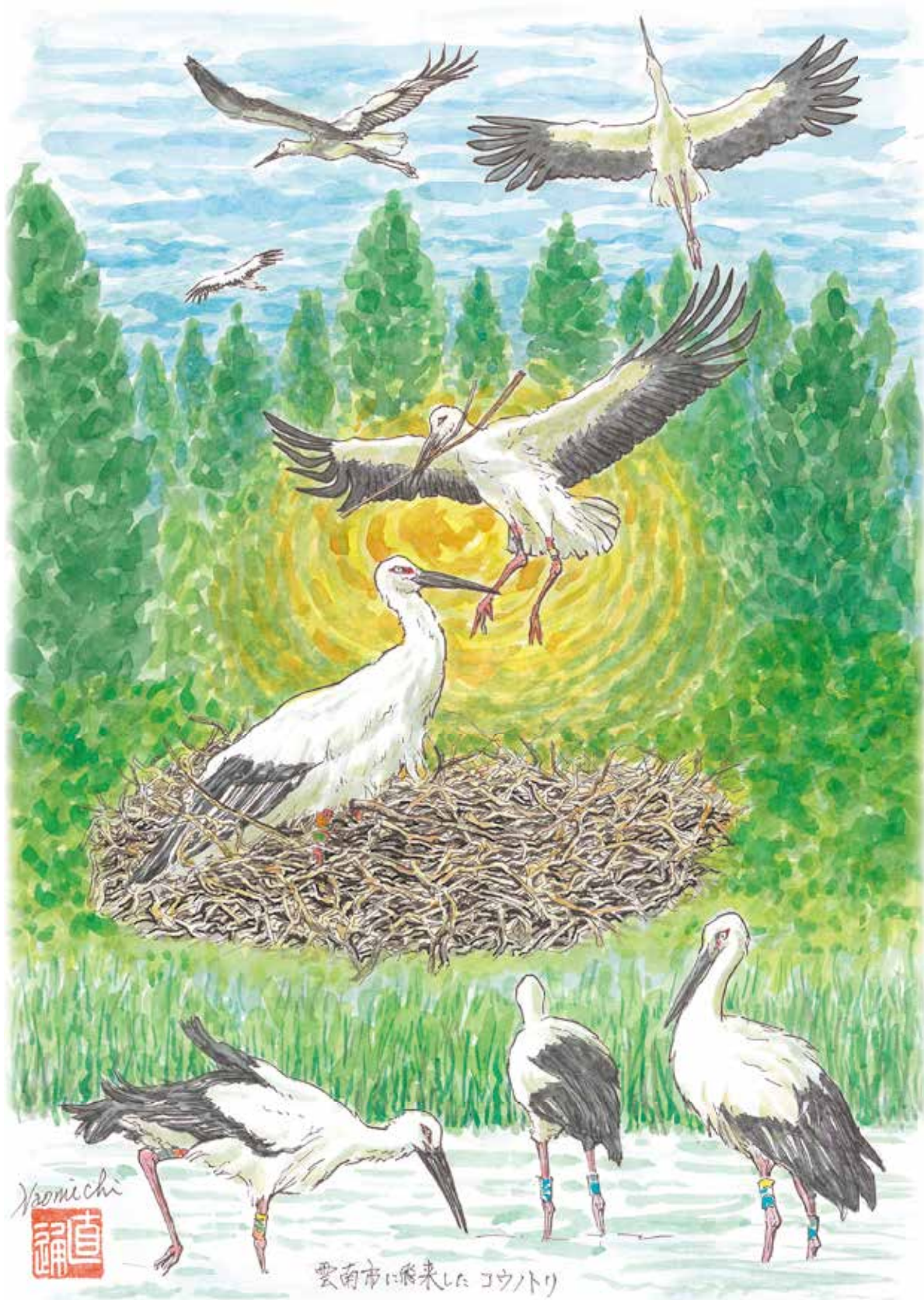
JAしまねびより

9

September Vol.18

特集

島根のいいもの再発見!! 「雲南市プレミアムつや姫 たたら燐米」 雲南地区本部



雲南市に飛来したコウノトリ

島根には誇れる農産品がたーつくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【雲南市プレミアムつや姫 たたら焰米】

9月は、雲南地区本部。雲南市でブランド米「プレミアムつや姫 たたら焰（ほむら）米」の生産に携わる、つや姫マイスター 渡部彰夫さんにお話しをお伺いしてきました。



たたら焰米とは、どのよ
うなお米ですか？

農薬や化学肥料を減らした特別栽培米のつや姫をさらに厳選、こだわり抜いたブランド米です。鉄分を多く含んだ専用肥料による土作り、米粒選別を1.9ミリ以上と大粒に均一、一等米かつタンパク値が一定の基準を満たす。以上の3つの要件を満たした最高級のお米を「プレミアムつや姫 たたら焰米」として出荷しています。雲南市管内では、昨年度からプレミアムつや姫としての生産を始め、35人で約39ヘクタール作付けしました。今年度はさらに増え、現在54人で約76ヘクタールでブランド米「たたら焰米」としての出荷を前提とした作付けを行なっています。



ブランド米を作るきっかけは何だったのですか？

隣の奥出雲町には全国的にも知られる仁多米があります。平成30年には国策としての生産調整廃止など、めまぐるしい変化が予想される中、今までと同じ米作りでは地域の農地が維持できないと危機感を抱いてきました。ここ雲南市独自のブランド米を作り、競争の激しい時代でも一定の価格を維持できるお米作りをしようと決意したのがきっかけでした。県や市、JAの方に全面的に協力してもらい、仁多米に匹敵する美味しいお米を作ろう、と取り組みを始めたところです。



栽培をしてみた感想はいかがですか？

つや姫自体が、コシヒカリに比べ稲が硬くしつかりしているのが、倒伏する心配が減ったのが一番の魅力です。ブランド米として出荷するために栽培計画書を春に作成し、肥料や農薬の散布量など細かく定め栽培します。その後の労力は普通のお米作りと大差はないように思えますが、ブランド米は一等米のなかでも最高級の出来のものなので、肥培管理や水管理など細心の注意を払っています。昨年は39ヘクタールで約5,600袋(1袋30キロ)収穫、そのうちの約4,000袋が



1等米、さらにその中から、たたら焰米の条件を満たしたものが約1,300袋でした。作付けしたうち2〜3割が最高級ブランド米として基準を満たしました。試行錯誤しながら品質の向上をさらに図っている最中で今年はさらに増えると見込んでいます。



たたら焰米の評判はどうですか？

たたら焰米の認知度向上のため、積極的にPR活動を行っています。地域の祭りなどに出席し、米の試食販売をしています。「食感が良く甘みもあって美味しい！」など食べ



た方の感想が高評価で喜んでいます。たたら焰米は、つや姫の1等米の中でも最高級のお米です。粒張りが良く、冷めてからも非常に美味しいお米。粘っこくて、噛めば噛むほど味が出るという言葉が似合う、自信を持ってオススメできるお米です。

たたら焰米 一口メモ

島根県では、平野部を中心に品質が低下しているコシヒカリに替わる県奨励品種として、山形県で育種された新しい良食味品種「つや姫」の本格栽培を平成24年から開始している。なかでも、渡部さんは県が認定する、美味しく・高品質な「つや姫」づくりのモデルとなる生産者「つや姫マイスター」として認定され、栽培技術の研さんを図りながら、地域全体の品質向上に積極的に取り組んでいる。昨年度に引き続き一定区画で元肥の量を変え、タンパク値の変化を探る試験栽培など、つや姫の品質向上への取り組みを先導的に行なっている。



今後の展望や抱負を聞かせてください。

競争の時代を生き抜いていくには、特色のあるブランド米やエコ米は一定の価格を維持してお米を出荷できる有効な手段だと考えます。つや姫は特別栽培米なので栽培が大変だと思われる方もいるかもしれませんが、仲間からは「申請書類の準備に時間は掛かるが、計画さえできれば後はその基準に従って栽培することで、付加



価値の付いたお米になる」と前向きな意見を聞きます。栽培規模はまだ少ないですが、本格的に取り組んで2年目なので経験をさらに積んで、なるべく早く雲南市のブランド米として定着させ、たくさんの方の農家の皆さんに栽培してもらいたいのです。



雲南

男性対象の料理教室 夏バテ予防の料理学ぶ

雲南地区本部は8月4日、奥出雲町の八川コミュニティセンターで、男性を対象にした料理教室「押忍（おっす）！男気料理塾」を開催。地元の20代から70代の男性12人が、地元産の旬の夏野菜などを使った料理に挑戦しました。

講師には、料理研究家、食結（しょくむすび）企画の土井小百合代表を招き、包丁の扱い方や調理方法のポイントなどを学びながら慎重に調理しました。土井さんは「夏はそうめんのみなどあっさりした食事になりがち。肉やトマトを入れて栄養のバランスを取りましょう」と話しました。

料理は、塩トマトそうめん、トマトと豆腐の酸辣湯、フルーツポンチ、しっとり鶏のシノみそ添えなど計6品を完成させ、参加者は「新しい出会いがあり、仲間が出来ました」「認知症を予防する面からも、積極的に参加したいです」と話しました。



土井さんに教わりながら調理する参加者

くにびき

地域の安全意識の向上へ 高齢者安全安心サポート隊を委嘱

くにびき地区本部は8月4日、犯罪や事故から高齢者を守る「高齢者安全安心サポート隊」の委嘱状を松江警察署から交付されました。JALまね管内での委嘱は初で、訪問日での注意喚起や店頭でのポスターを通じて、高齢者の犯罪被害防止につなげます。

安心安全サポート隊は、高齢者自身の安全意識の向上を目的に、松江警察署が、高齢者と接する機会の多い事業所に委嘱しています。

交付式では、松江警察署の榊原優二署長が、県内の事件・事故件数は減少傾向だが、高齢者が被害に遭う割合が高い点を指摘。「地域に密着されている皆様には、日々の業務の中で、地域の安全意識の向上に努めてもらいたい」と話し、本部長と支店長13名に委嘱状を手渡しました。

委嘱状を受け取った栗原令本部長は「重大な課題と認識している。窓口業務での助言、ポスター等の掲示を通じて、高齢者の犯罪被害の防止をサポートしていく」と決意を述べました。



委嘱状を受け取る栗原令本部長（左）

隠岐

夏の夕市で賑わい

隠岐郡隠岐の島町の隠岐島文化会館で8月9日、同会館の駐車場の特設会場で夏の夕市が開催されました。夕市には、隠岐地区本部管内の農産物生産者や関係者によりお盆の準備等で使われるホオズキや榊をはじめ、ぶどう、西瓜、メロン、茄子、海産物では岩モズク、冷凍の魚など色とりどりの品物が並べられました。

夕方5時30分からの販売となっていましたが、商品の数に限りがあることもあって、商品を買って求めて集まった来場者は待ちきれない様子で販売時間が来るのを待っていました。販売開始とともに約100人の来場者が目当ての商品を目がけて一斉に買い求め、販売開始後30分で夕市が終了となりました。夕暮れ時の短い時間ではありましたが、夏の賑わいを感じることができました。



やすぎ

基礎から実践まで 農産加工講座が好評

農産加工品の競争力を高め、生産者の技術力を上げようと、安来農林振興協議会が主催する農産加工講座が今年も好評です。2014年度からやすぎ地区本部の直売部会員を対象に実施。基礎から実践までを学べるとあって、今年は約20人の部会員が参加しています。

7月に2回開催し、松江保健所から講師を招いて、農産加工に必要な衛生管理と食品表示について学び、グラフィックデザイナーの野々内政美（有）ノード社長からは、売れるために必要なパッケージデザインについて学びました。

今後は漬け物コンクールや実践研修としてジャム作りも行う予定で、生産者の更なるスキルアップを目指します。



パッケージデザインを学ぶ生産者

斐川

ひかわ女の夏まつり開催

出雲市斐川町の斐川文化会館で8月8日、斐川地域の女性農業者などで組織されている「アグリレディースネットワーク・ヒロイン」が主催する「第23回ひかわ女の夏まつり」が開催されました。「女性が主役」をキャッチフレーズに、企画から当日の運営まで全て会員が行っています。

この日は、会員が作った「焼きそば」「ヒロイン寿司」「炊き込みご飯」「トマトケチャップ」なども販売され、舞台ではフラダンスやカラオケ、日舞、よさこいなど日頃の活動の成果が各団体により披露されました。また、JAしまね斐川女性部とJA職員のコラボレーションで「人間っていいな」の曲に合わせ「スコップ三味線」を披露しました。

後半では、今年入組した新入職員2人がJAバンクのマスコットキャラクター「ちょリス」と激しく演奏する場面もあり、会場は大いに賑わいました。フィナーレでは来賓として出席した山根本部長、飯塚女性部長も参加し、斐川地区本部から提供した「飴」で「飴まき」が行われました。



会場を盛り上げる新入職員

隠岐 どうぜん

シャラ船流し

隠岐どうぜん地区本部管内の隠岐郡西ノ島町で8月16日、お盆を迎えた先祖の霊を地域毎に造った精霊船（3～8m）の帆に盆旗を結び、供物を載せて送る「シャラ船流し」が盛大に行われました。

この伝統的なシャラ船は、以前は中学生が中心となって竹、麦わら、稲わら等を集め、大人の指導を受けながら造ってきましたが、近年は材料の入手が難しく、子供の数が少なくなったことで、取り組みの様子も大分変わってきました。



それでも、先祖を偲ぶ心と隠岐の夏を代表する風物詩として、大事に受け継がれています。



石見銀山

天領さん正調踊り ～おおだ食フェス

JAしまね石見銀山女性部とJA石見銀山地区本部職員26人が8月6日に、大田市で開かれた祭「第37回天領さん」の正調踊り部門に出場しました。揃いの浴衣、JAロゴ入り法被を身に付け、一糸乱れぬ踊りを披露しました。

また、JAしまね石見銀山青年連盟が、当日開かれた「おおだ食フェス」に参加。8人の盟友が集まり、親鳥の炭火焼き、トマトとブドウのスムージーを出店し「食」を通じて祭りを盛り上げました。

JAでは、女性部と職員が合同で毎年地域の祭りに参加し、地域振興に取り組んでいます。



楽しく踊る女性部と職員

出雲

「第12回出雲神話まつり」 出雲盆踊りにJA職員も参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第12回出雲神話まつり」が8月11、12日の両日開かれ、11日の「出雲盆踊り」に出雲地区本部の若手職員が参加しました。入組1・2年目の19人の職員は色鮮やかなそろいの浴衣を着て、踊りながら今市町のくにびき中央通りを練り歩きました。

「出雲盆踊り」には、同JA女性部の今市・四絡・荒茅支部の部員も参加するなど33団体、約1,000人が参加しました。団体ごとに衣装を揃え、市内各地区の特色を盛り込んだ唄に合わせて踊り歩き観客を楽しませました。

12日には大津神立河川敷公園で花火大会も行われ、約8,000発の花火が出雲の夜空を彩りました。



出雲盆踊りを踊る職員

西いわみ

地元高校生が特裁米のネーミングとロゴマークのプレゼンに挑戦

吉賀米推進協議会（会長吉村諭）は7月26日、鹿足郡吉賀町有飯の六日市温泉ゆららで、同協議会が生産する「吉賀米（よしかまい）」の「ネーミング・ロゴマークプレゼン大会」を開催し、地元高校生がプレゼンに挑戦しました。

同協議会は、農薬や化学肥料を県の基準の半以下に抑えながら、清流高津川の源流地で、安全で安心な米作りに取り組んでいます。生産された米は大阪市内の米穀店などで販売されていますが、産地間競争が激化し他産地との差別化が必要となったため、新たな名称とロゴマークを作成しブランド化を図ることとしました。生産者だけでなく地元が一丸となった取り組みとするため、町の未来を担う地元高校生にアイデアを募集したところ、ネーミング54点、ロゴマーク30点の応募がありました。協議会役員やJAなどの関係機関で一次審査を行い、それぞれ3点ずつを選出し、同大会でプレゼンを行いました。

プレゼンを見た吉村会長は「私達生産に関わる者の固定観念を覆し、第三者から見た新鮮な考え方や感性が作品に込められていてとてもよかった」と話しました。



島根おおち

役職員大会・職員研修を開催

島根おおち地区本部は8月5日、29年度役職員大会を開催し、コンプライアンス・人権研修を行いました。

同地区本部では、毎年2回役職員大会を開き、全職員を対象にした職員研修を行っています。今回は、本店リスク管理部職員による組合活動に関する独占禁止法の取扱いについてのコンプライアンス研修と、DVDによる人権研修を行いました。

また今回の役職員大会では、教育評論家の野々村直通氏を招き「企業の強育論」と題した講演を行いました。野々村氏は、企業を学校と置き換えて、自身の学校現場での教育方針や指導の仕方など長年の教育現場での経験談などを話されました。講演のなかで、簡単に犯罪を行ってしまう近年の青少年について、小さい頃からの教育が大切であり、叱らず褒めるばかりの現在の教育方針は見直す必要があるのではないかと指摘されていました。

講演を聞いた職員は「野々村先生のこれまでの経験談が聞けて大変勉強になった。今後組織としての指導法等について自身に振り返って考えていきたい」と話しました。



講演を行う野々村氏

本店

コメ政策の大転換と水田農業のあり方を考える学習会を開催

県や農林漁業団体などで構成する「食料・農林漁業・環境を考える島根県民フォーラム」（鎌田憲男代表）は8月22日、出雲市のラピタ本店で第12回学習会を開きました。約170人が参加し、30年産からのコメ政策見直しに伴う今後の水田農業のあり方等について考えました。

基調報告で県農林水産部・長野正己農産園芸課長は、全国や県内の米の需要動向等にふれた後、売れる米づくりに向けた「島根米レベルアップ推進プロジェクト」の取り組みや飼料用米、水田放牧などに関する県の取組方針を説明しました。

パネルディスカッションでは、岡田浄・浜田市弥栄支所産業建設課係長、小村正・農事組合法人まめなかファーム新田後代表理事長、金山功・農事組合法人須摩谷農場事務局長、坂本忍・JAしまね常務理事をパネリスト、基調報告を行った長野課長を助言者、平塚貴彦・島根大学名誉教授をコーディネーターとして、取組報告などを通じて、今後の水田農業のあり方と課題・対策について考えました。会場からは、具体的な方法や将来展望などの質問もあり、水田農業に対する関心の高さがうかがわれました。



意見を交わすディスカッション参加者ら

いわみ中央

JAふれあいの集い2017 ~地域とともに~

いわみ中央地区本部は8月19日、浜田市の石央文化ホールで「JAふれあいの集い2017」を開催しました。来賓に浜田市長をはじめ県議会議員らを招いて、総勢650人の参加で盛大に開催しました。

今年度は「地域とともに」をテーマにかかげ、午前の部では「家の光から生まれる協同の心を伝える」として、家の光記事朗読やJA女性部による家の光記事活用体験発表等を行いました。また、安来のおじコンサートも行い、独特な出雲弁で、参加者は終始和やかな雰囲気の中でコンサートを楽しんでいました。

午後の部は、ダンスチーム「メイヒップホップスペシャルダンスユニット」のヒップホップダンスで幕開け。舞台は、大会のメインであるJA女性部と職員のふれあいのステージで盛り上がりました。最後にはお楽しみ抽選会も行いました。

この大会を契機に、更に強いつながりと絆が生まれ、10年後もJAしまねが、そしていわみ中央地区本部が元気ですと言えるよう願って、参加者全員で農業協同組合歌「明日の大地に」を合唱しました。お帰りの際には、「ケイトウの花を植え花貯金をしよう!」を活動テーマにして女性部が栽培したケイトウの花を一人一人に手渡ししました。



基本方針

現在、JAしまね管内は人口減少や超高齢社会の到来、農業者の高齢化等による農業生産基盤の急速な脆弱化などの厳しい環境の下にあります。

このようななかで、平成27年3月1日に自己改革を先取り、実践する形でJAしまねがスタートし、2年が経過しました。

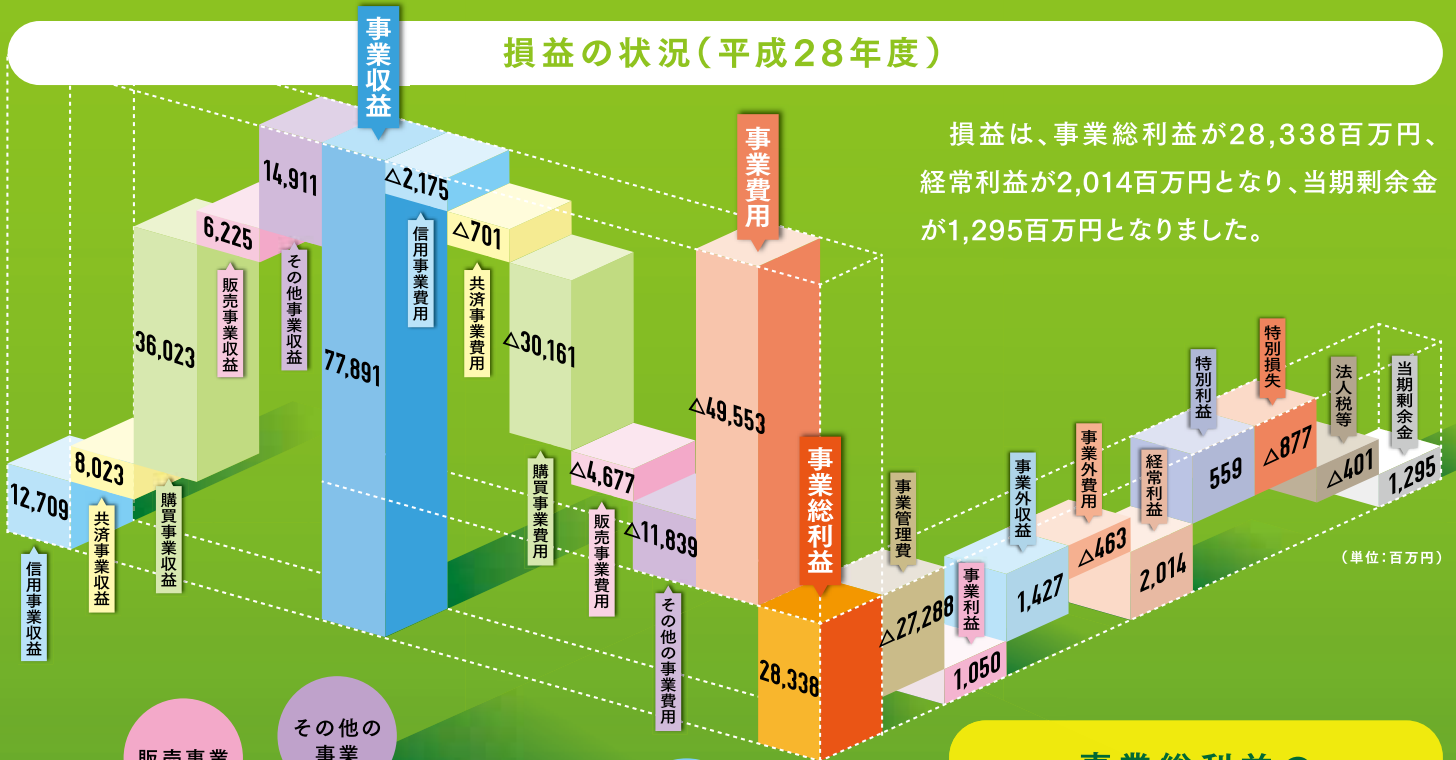
今後も、JAしまねとして農業振興、地域振興、農業・農村の多面的機能発揮において、一層重要な役割を發揮し続けるためには、総合農協として各事業を持続的に展開させるとともに、農業者・地域住民と一体となった協同活動に取り組まなければなりません。

こうした取り組みを通じて、「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域社会の実現」「協同組合としての役割發揮」をめざします。

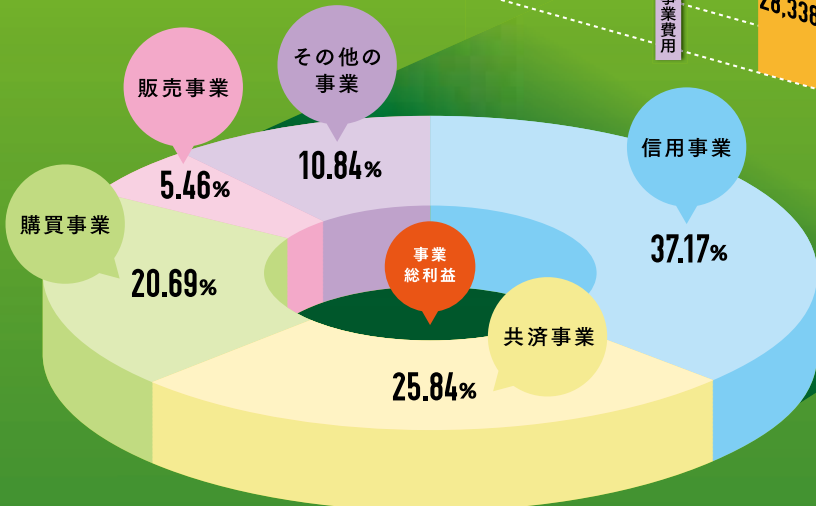
また、本店と地区本部との連携や重複する機能・機構の整備・効率化など今後も自己改革を実践しつつ、引き続き農業者・地域住民のニーズに応えるため、JAしまね各事業の総力を結集し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組む、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の確立をめざします。



損益の状況(平成28年度)



損益は、事業総利益が28,338百万円、経常利益が2,014百万円となり、当期剰余金が1,295百万円となりました。



事業総利益の増減要因

事業総利益に占める各事業の割合

2 事業別業況(平成28年度)

農業関連事業

購買事業(生産資材)

肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬の銘柄統一や値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、生産購買品供給高は13,007百万円となりました。



販売事業

平成28年産米から島根米の買取制度の導入、また畜産等の品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組んだ結果、販売品販売・取扱高は38,259百万円となりました。



生活関連事業

購買事業 (生活物資)

地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営、また県下統一企画で自動車等の「合併1周年記念セール」を展開した結果、生活購買品供給高は21,084百万円となりました。



共済事業

共済渉外担当者(LA)を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者(スマイルサポーター)による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまね こども倶楽部」の普及に努めた結果、長期共済保有高が3,659,406百万円、年金共済保有高が20,570百万円となりました。

信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえた各種キャンペーンや新商品の投入など、農業と地域利用者をつなぐ金融サービスの提供に取り組んだ結果、貯金が期末残高994,007百万円、貸出金が期末残高308,072百万円となりました。



3 農業振興活動



農業振興支援事業での持続的営農への支援

平成28年度は、5.5億円の予算化を行い担い手の規模拡大や複合型営農の促進、新規就農者の初期投資の軽減対策を実施しました。

特に、島根県農業の基幹である和牛子牛の増頭対策では当初の増頭計画を超える繁殖母牛の導入、デラウェアでは優良系統への改植による永続的産地への支援、担い手の複合型営農形態の促進に向けた園芸品目の普及対策を実施しました。

また、JAしまねによるリースハウス・リース園地のリース料負担軽減対策を実施し、規模拡大や新規参入の促進を支援しました。

4 地域密着型金融への取り組み

子育て応援宣言

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様に全力サポートしています。

住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。そして、マイカーローン・教育ローンでも、金利および引き下げ内容の見直しを行いました。

また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乘せ定期積金をご用意しています。



2017 DISCLOSURE

ディスクロージャー誌の本冊ではJAの経営内容や事業所の配置図など、JAの詳しい情報をご紹介します。ご要望の方には、信用店舗にて無料配布しております。また、JAしまねウェブサイトでも閲覧いただけます。

ウェブサイト <http://ja-shimane.jp/disclosure/>



JALしまね

PROFILE

設立	平成27年3月1日
本店所在地	島根県松江市殿町19-1
出資金	227億円
総資産	1兆1,044億円
単体自己資本比率	15.21%
組合員数	232,661人
役員数	74人
職員数	3,644人
事務所数	202



開星高校野球部に 「コシヒカリ」贈呈

くにびき地区本部は8月1日、第99回全国高校野球選手権鳥根県大会で優勝した開星高校野球部に、米30キロと激励金を贈呈しました。開星高校野球部は、県大会決勝で、益田東高校を5-2で破り、3年ぶり10回目の甲子園出場を果たしました。

当日は、山内弘和監督、葉田翔人主将らが訪れ、県大会の様子や甲子園での意気込みを語り、くにびきコシヒカリ30キロと激励金を受け取り甲子園での健闘を誓いました。



栗原本部長から米を受け取る葉田主将（左から2人目）



栗原令部長は「鳥根県の代表として優勝まで一生懸命頑張ってきた」と激励。山内監督は「こうした形で支援していただけるのはとてもありがたい」と謝辞を述べ、葉田主将は「たくさん米を食べて体を作り、一戦一戦全力で頑張ります」と抱負を述べました。

宍道支店で ビアガーデン 開催!



宍道支店運営委員会（伊原幸俊委員長）は7月27日、同支店周辺で毎年恒例のビアガーデンを開きました。会場となった支店駐車場には、多くの地域住民が訪れ、露店のかき氷やカトスイカを味わいながら、打ち上げ花火を眺めました。

ビアガーデンは、宍道町内にある氷川神社の「祇園祭」



かき氷を販売する支店運営委員ら



（れんげ祭）に合わせて、毎年開いており、組合員や利用者、地域住民の交流促進に繋がっています。当日は支店職員や支店運営委員らが生ビールやかき氷をはじめ、鳥根和牛の串焼き、出雲そば、町内産のスイカなどを販売。会場を訪れた人たちは、思い思いに飲食物を楽しみながら、夜空に浮かぶ花火を眺めました。

農事組合法人 林本郷が設立 地域農業の活性化へ



農事組合法人林本郷の設立総会が7月16日、林本郷公民館であり、構成員49名のうち、36名が出席（ほか委任状13名）し、定款の制定や役員の選出、事業計画など、全議案を承認しました。



事業計画などについて協議する参加者ら

同法人は、地域農業の活性化と効率的な農業経営の実現を目的に、前身組織である「林本郷営農組合」の事業を引き継いで設立しました。



総会には、来賓として、くにびき地区本部の田中鈴夫副本部長をはじめ、県、市、市議会の関係者が出席し、祝辞を述べました。法人としての事業開始は来年1月からで、農地を集積しながら、水稲やそば、エゴマなどの付加価値の高い作物の生産販売を進める計画です。また、役員の選出も行い、代表理事組合長に松浦久年さん、副組合長には福岡泰正さんを選任しました。

ピザを囲んで楽しく婚活
くにびき青年連盟

Pizza婚 開催

くにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は7月29日、教育文化センターSan・san館で、「Pizza婚」を開きました。男女合計23名（男性12名、女性11名）が参加し、盟友が持ち寄った新鮮野菜でピザを作りながら、交流を深めました。

このイベントは若手農家の出会いの場を創出する目的で、初めて企画。トッピングに使う野菜には、地元産を採用すること、地産地消もPR。



調理を進める参加者ら



参加者は、職員から市販のピザ生地を使った作り方の説明を受けた後、調理を開始。トマトやピーマンを手際よく切つていく様子に互いに感心したり、焼き上がりを思い浮かべながら調理を進め、会話に花を咲かせました。

ピザをオーブンで焼き上げた後は、全員で試食。同時に作ったサラダと合わせて、互いの趣味や休日の過ごし方などについて語り合いました。

最終的にはカップル一組が成立。記念品としてポップサーカスのチケットなどの副賞が贈られました。参加者は「楽しかった。また来たい」「ピザがおいしくて会話も弾んだ」などと満足そうに感想を述べました。



特別協力

松江出身の演歌歌手

小川
たける
さん

来訪 11月に松江でコンサート開催



松江市出身の演歌歌手・小川たけるさん（29）が8月8日、くにびき地区本部を来訪し、11月5日に開催するデビュー3周年記念コンサートに向けての意気込みを語りました。

小川たけるさんは、1988年生まれで開星高校を卒業後、青山学院大学に進学。その後、2014年に松江城下町を歌った「ふたりの城下町」でデビュー。有名演歌歌手と共演したり、全国各地でコンサートを開催するなど注目を集めています。また、芸能活動以外でも、松江観光大使に就任して松江の魅力を県外にPRしており、活躍の場を広げています。

小川さんは、同地区本部が納品した松江産のお茶5キロを、「小川たける茶」として販売することや11月のコンサートの概要について役員に説明。栗原令本部長は「松江をPRするためにも頑張ってもらいたい。地区本部として協力していきたい」と激励し、コンサートの特別協力を約束しました。

小川さんは、節目となるコンサートを前に「多くの人に支えてもらっていると感じる。全国におられる島根県出身者をつなぐ橋渡し役になりながら、恩返しをしていきたい」と、抱負を語りました。

お知らせ



くにびき地区本部では「小川たけるワンマンコンサート」の前売り券を**組合員価格**で取り扱っています。

日時 2017年11月5日【開場】12:00【開演】13:00

- 場所 松江市総合福祉センター（松江市千鳥町70）
※駐車場有
- チケット価格 通常価格3,500円のところ、**組合員価格3,200円**にて販売中
- 申込・問い合わせ先 くにびき地区本部総務部ふれあい課
TEL：0852（55）3018

▲ポスターを手に記念撮影する小川たけるさん（右）と栗原本部長

ハナエチゼン、ヒメノモチなど初検査 一等米比率46・26%



真剣な表情で粒の状態を確認する職員ら

平成29年産米集荷状況

平成29年8月31日現在

(単位:袋・%)

品種名	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比
			1等	2等	3等		
ハナエチゼン	14,092	6,116	2,805	3,268	43	45.9%	43.40%
コシヒカリ	43,575	1,143	277	734	132	24.2%	2.62%
うるち							
きぬむすめ	36,288	0	0	0	0	0%	0%
つや姫	18,608	333	333	0	0	100.0%	1.79%
その他	0	0	0	0	0	0%	0%
うるち計	112,563	7,613	3,415	4,023	175	44.9%	6.76%
もち	1,694	474	0	460	14	0.0%	27.98%
合計	114,257	8,087	3,415	4,483	189	42.2%	7.08%

※各品種の「しじみ米」は品種数量に包含しています。※各品種の数量には加工用米を包含しています。

	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比
			1等	2等	3等		
加工用米	3,196	660	112	506	42	17.0%	20.65%
目標数量	集荷袋数		目標数量対比				
120,000	8,087		6.74%				

平成29年産米の検査が8月25日、下佐陀倉庫で始まりました。この日はハナエチゼンやヒメノモチ1405袋を検査し、一等米比率は46・26%でした。

初検査式には、検査員のJA職員や荷捌き担当者ら約30人が出席。栗原令本部長が「全国的に天候不順が相次ぐ中、組合員や生産者の皆さんが丹精込めて作

られた。適切な検査をお願いしたい」と呼び掛けました。

この日、検査された米の内訳は、ハナエチゼン1391袋、ヒメノモチ14袋。検査では、出荷された米袋からサンブルの玄米を抜き取り、粒の色や大きさ、水分含有量などを入念に調べ、等級を決めていき



ヒマワリを収穫する池田さん(左)

東津田の池田さん ヒマワリを収穫

東津田町内でヒマワリを栽培している池田仁志さん(73)が8月8日、地域の有志らとともにヒマワリの収穫を行い、更生施設や市役所に無料で配布しました。

池田さんは、「地域のみんなで明るい社会を作りたい」という思いのもと、法務省が実施している「社会を明るくする運動」の一環として、十年ほど前にヒマワリの収穫と配布を始めました。

地域で社会を明るく



当日は、津田支店の職員のほか、保護司会からボランティアとして14名が参加。天候は雨でしたが、参加したメンバーは、春に播種したヒマワリ3千本を手際よく刈り取り、3本を1束にまとめてラッピングしました。

池田さんは「ひまわりで地域が明るく元気になることを願っている」と話し、松江保護観察所の上谷淳子企画調整課長は「子どもたちには、ひまわりのようにまっすぐ育ってほしい」と期待を込めました。

12万袋目標

平成29年産米買取単価が決定!

米生産農家の
皆様へ

JAでは、昨年より取り組んでおります米の買取制度により、集荷活動および有利販売に力を入れて取り組んでおります。皆様が、大切に育てたお米を、1袋でも多くJAへ出荷いただきますようお願い申し上げます。

平成29年産JA米買取単価

米の買取価格が決定しましたので、お知らせいたします。平成29年米の買取については、出荷時に仮単価でお支払いし、12月末に追加確定金でお支払いいたしますので、ご承知おきのほど、宜しくお願いたします。また、「コシヒカリ」「きぬむすめ」「つや姫」の3品種につきましては、1等米で1・9ミリふるい目による価格差が設定されております。1袋でも多くご出荷していただきますようお願い申し上げます。

(単位：円(税込)/30kg袋、括弧内は平成28年産買取単価対比)

品種	等級	1等		2等	3等
ハナエチゼン	12月末に追加確定金をお支払いいたします。	5,900 (+300)		5,550 (+300)	5,050 (+300)
ハナエチゼン しじみ米		6,000 (+300)		5,650 (+300)	5,050 (+300)
コシヒカリ		1.9上	6,350 (+150)	5,900 (+150)	5,400 (+150)
		基準	6,250 (+150)		
コシヒカリ しじみ米		1.9上	6,450 (+250)	6,000 (+150)	5,400 (+150)
		基準	6,350 (+150)		
コシヒカリ くびき米		1.9上	6,550 (+250)	6,100 (+150)	5,400 (+150)
		基準	6,450 (+150)		
つや姫 (特殊栽培米 ST)		1.9上	6,550 (+150)	6,100 (+150)	5,350 (+150)
		基準	6,450 (+150)		
つや姫 (特殊栽培米)		1.9上	6,500 (+100)	6,050 (+100)	5,350 (+150)
		基準	6,400 (+100)		
きぬむすめ		1.9上	6,200 (+300)	5,750 (+300)	5,250 (+300)
		基準	6,100 (+300)		
きぬむすめ しじみ米		1.9上	6,300 (+400)	5,850 (+300)	5,250 (+300)
		基準	6,200 (+300)		
その他うるち (一般米扱い)		5,500 (+300)		5,150 (+300)	4,650 (+300)
銘柄もち (一般米扱い)		6,000 (-500)		5,400 (-500)	4,900 (-500)
銘柄もち (契約もち)		7,000 (-)		6,400 (-)	5,900 (-)
その他もち (一般米扱い)		5,600 (-500)		5,000 (-500)	4,500 (-500)

※1等米品質区分は、1.9mmふるい目は「1.9上」、1.85mmふるい目は「基準」となります。

※この価格表はくにびき地区本部に該当する品質についてのみ掲載しております。

くにびき地区本部平成29年産米出荷キャンペーンのご案内

JA商品券を抽選で贈呈

JAにご出荷いただいた方の中から抽選でJA商品券を贈呈します!

- 平成29年11月30日までに出荷された米を対象といたします。

対象品種：JA米として確認がとれた主食用米の「うるち米」並びに「もち米」

※加工用米は除きます。

うるち米	ハナエチゼン・コシヒカリ・きぬむすめ・つや姫
もち米	ヒメノモチ・ミコトモチ

- 出荷数量によって大口賞、だんだん賞があります。
- 抽選会は平成30年1月に実施します。当選者には、郵送で通知し賞品を贈呈いたします。
 - 大口賞**
 - ・100袋以上、出荷いただいた方の中から抽選 (100袋を一口として抽選します)
 - ・「農協全国商品券 20,000円分」 20本
 - だんだん賞**
 - ・JAに出荷いただいた方の中から抽選 (大口賞対象は除く)
 - ・「農協全国商品券 5,000円」 40本

※グリーンショップ、Aコープ等での買い物のお支払いにご利用いただけます。

くにびき地区本部 営農経済部 米穀畜産課 TEL55-3038

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



ねぼしあん

八束町（大根島）では、昭和初期からサツマイモが盛んに栽培されてきました。時代の流れとともに生産量が減少していましたが、近年の健康志向の高まりなどで価値を見直されたこともあり、少しずつではありますが生産量が増えています。

大根島では、保存食として、サツマイモを冬の寒風にさらして干しイモに加工する習慣があります。これを「ねぼし」と言い、調理して農繁期などのおやつとして昔から食べられてきました。よく作られるのは、だんごをつくって、ねぼしあんと混ぜて食べる方法です。他にもねぼしあんを丸め、天ぷらの衣をつけて油で揚げると、薄皮まんじゅうみたいで美味しいです。

今月の料理人

八束支部
渡部みはる さん(右)
曾田 洋子 さん(左)



煮たイモがやわらかくなり過ぎないように注意が必要です。また、イモをつぶす際には、食感が残るように粗くつぶしましょう。

【材 料】5人分

- ・干しイモ……120g
- ・水………800cc
- ・重曹………小さじ1/4
- ・砂糖………50g
- ・塩………少々
- ・だんごの粉……100g

【作り方】

- ①作る2～3時間前に干しイモを熱湯800ccに浸しておく。
- ②さつまいもをつけ汁ごと鍋に入れ、沸騰したら重曹を入れやわらかくなるまで煮る(約20分)。間であくをていねいにとる。
- ③②がやわらかくなったら湯を切り、粗くつぶして砂糖と塩を入れ、ねぼしあんの出来上がり。



サン・サン料理教室

日時 10月26日(木) 10:00～13:00

※開催時間より開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

お米を食べよう！新米がスタートの季節となりました。ふっくら、つやつやの新米をみんなでおにぎりにして食べませんか！

10月のメニュー ふっくら、つやつやの新米で<おにぎり大作戦!>

★シンプル!塩おにぎり ★おにぎらず2種(島根和牛とピーマン、塩サケと大葉)

★カブと柿の酢の物 ★減塩みそ汁 ★フルーツ (都合により変更させていただくことがあります)

募集人数 30名程度 組合員、利用者、松江市民を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 800円(当日徴収いたします)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 平成29年10月17日(火)

参加者募集!

サン・サン手芸教室

<写真はイメージです>

日時 10月17日(火) 14:00～16:00

家の光記事を参考に、みんなで楽しくかんたんハンドメイド!一人では出来ないことも、みんなで克服!講師がやさしく指導します

10月の内容 『刺し子のコースター』

伝統的な刺し子の基本の縫い方を練習しながら楽しく作れるコースター心をこめてひと針ひと針刺してみませんか

募集人数 20名程度 参加費 800円(材料費を含みます)

準備品 裁ちばさみ、縫い針、縫い糸、待ち針

申込締切 平成29年10月3日(火)



刺し子のコースター

場所 くにびき地区本部San・san館 お申込み/お問合せ
松江西市西川津町1635-2

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、はがき・FAX・Eメールでお申込みください。
〒690-0823 松江西市西川津町1635-1 JAしまねくにびき地区本部 総務部ふれあい課
TEL: 55-3018 FAX: 32-6870 Eメール: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

第28回

ふれあい親子いもほり大会

〈主催：くにびき地区本部・くにびき青年連盟／共催：くにびき女性部〉



日時 平成29年10月8日(日) 9:30集合 10:00開始

集合 「JA中海干拓集出荷場」 松江市東出雲町錦浜431-2

会場 「中海干拓地」 集合・受付後徒歩にて移動

9:30～ 集合・受付

10:00～ いもほりスタート

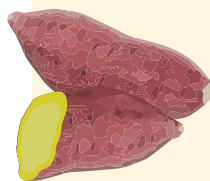
★ジャンボいもコンクール

★女性部・いもだんご汁販売

12:00 終了

- ◆参加費：5歳以上1人につき500円（当日集金させていただきます）
- ◆募集数：幼稚（保育）園・小学校の園児・児童とその家族 200名
- ◆参加申込：支店・店に備え置きのお申込書、または住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご記入の上、FAX・Eメールでお近くのくにびき地区本部支店・店までお申込ください。
- ◆応募締切：平成29年10月3日（火）必着 ※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。
- ◆ご持参品：移植ゴテ・水筒・敷物をご持参ください。
- ◆注意事項：(1) 収穫袋は主催者で準備し、受付にて配布します。配布する袋以外での収穫は禁止します。
(2) 本大会は、親子で大自然の中の「ふれあい」を目的に実施しています。大人の「芋収穫」だけの参加はご遠慮ください。また、クワ・スコップの持ち込みはお断りします。
(3) 当日は少雨決行いたします。

※当日の連絡先 総務部ふれあい課：090-6835-5233



第1回 JAしまね

くにびき地区本部長杯 ふれあいゴルフコンペ

組合員・利用者相互の親睦と健康増進を目的とした「第1回JAしまね ふれあいゴルフコンペ」を開催いたします。

参加者募集



- 開催日：平成29年11月8日(火)
- 場所：島根ゴルフ倶楽部 出雲市美野町1652
- 参加費：2,000円
- プレー費：各自精算（キャディ無し）
- 募集定員：25組 100名程度
- 参加申込：支店・店に備え置きのお申込書、または住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご記入の上、FAX・Eメールでお近くのくにびき地区本部支店・店までお申込ください。
- 申込先：くにびき地区本部 各支店・店まで
- 申込期限：平成29年10月20日(金)
- 表彰式：島根ゴルフ倶楽部
- その他：スタート時間及び組合せは後日ご案内いたします。

皆様のご参加お待ちしております

【いもほり大会・ゴルフコンペの申込み、問い合わせ先】 くにびき地区本部 総務部ふれあい課
〒690-0823 松江市西川津町1635-1 TEL 55-3018 FAX 32-6870 Eメール：community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

参加者募集中!

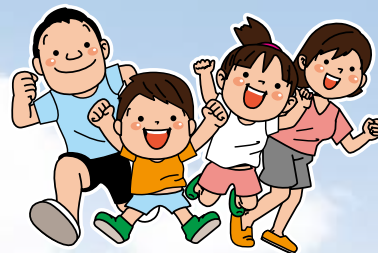
第5回 JAしまね

主催:くにびき地区本部 / 共催:くにびき女性部、くにびき青年連盟
特別協力:松江ウォーキング大会

くにびきだんだん健康ウォーク大会

組合員・利用者みなさまの健康づくり、ゆとりと生きがいづくりをすすめるため、「JAしまね くにびきだんだん健康ウォーク大会」を実施します。ぜひ、ご参加いただき秋の松江の自然を満喫してみませんか。

1. 開催日時 **平成29年11月3日(金) 8時00分受付開始 9時30分出發** ※雨天決行
 2. 集合場所 くにびき地区本部(物流センター前)
 3. コース 松江縁結び大橋~くにびき大橋10kmコース(地図参照)
 4. 募集人員 150名程度
 5. 参加資格 JAしまねの組合員・利用者を基本とします。
 6. 参加料 500円(傷害保険料含む) ※参加料は当日払い
 7. 参加申込 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・緊急連絡先を記入の上、はがき、FAXまたはEメールで下記までお申込みください。
 8. 参加締切 **10月20日(金) 必着**
 9. 記念品 ゼッケン、完歩証・JAグッズ
 10. 準備品 水筒・雨具・帽子・タオル等
 11. イベント お楽しみ抽選会、特産品等の立売り、女性部による芋だんご汁の無料提供、バイタルチェック(血圧測定)等
- ※当日の連絡先 総務部ふれあい課:090-6835-5233



くにびき地区本部 総務部ふれあい課 「くにびきだんだん健康ウォーク大会」係
〒690-0823 松江市西川津町1635-1 TEL 55-3018 FAX 32-6870 Eメール: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

今夏は去年以上に蒸し暑く、早くからエアコンのお世話になっています。「トマト汁だけそうめん」をささく作ってみました。さっぱりして、しかも食べられます。(T・T)

自然を愛し、自然に親しんで素敵に生きておられる方々が、自然に生かされて輝いているように冊子いっぱい写っております。いつも元気をいただいています。(M・U)

「地域の元氣人」のコーナーをいつも楽しみにしています。今回は地元の人だったので、家族でワクワクしながら読ませていただきました。こころと頑張ってください。私にも元気をもらいました。(E・S)

しまねうれしびを見て、早速「キュウリと鶏むね肉の中華風」を作りました。耐熱ガラスの器に、鶏肉を入れてレンジにかけた。「パサパサして失敗か」と思いましたが、キュウリと和えるとやわらかく、おいしくできました。ありがとうございました。(K・S)

たくさんのご意見、ご要望がありがとうございました。いただいたおハガキの一部をご紹介しますいただきます。



お便りコーナー

ガス川柳 大募集!!

テーマはガス!!

前年入賞作品

平素はJAしまねのLPガスをご利用いただき、ありがとうございます。
日頃のご愛顧に感謝を込めて、ガス川柳(豪華景品付)を募集します。日常生活でのガスの便利さや、お祭り・屋台での楽しい思い出など、LPガスにまつわるさまざまなエピソードを川柳という17文字に込めてご応募ください。



ガスで炊く
おふくろの味
みな笑顔

- 応募方法: 川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を官製ハガキにご記入のうえ、応募してください。
(注)発表の際、ペンネームを希望される方は、必ずペンネームを記入してください。
- 送り先: 〒699-0631 出雲市斐川町直江5030番地 JALしまね自動車燃料部「川柳募集係」まで
- 応募規定: 5・7・5の17文字の川柳で、応募はお一人様3点までとします。
- 各賞(賞品)

- ◇最優秀賞 3本 ガスファンヒーター&島根の特産品詰合せ
 - ◇優秀賞 12本 ガスファンヒーター
 - ◇佳作 30本 島根の特産品
- 注1)当選の権利は譲渡できません。
注2)LPガスファンヒーターは取付工事・配管無料。

- 募集締切: 平成29年10月31日(火)当日消印有効
- 選考会: JALしまね本店自動車燃料部にて
- 各賞発表: 受賞作品とともに1月号の情報誌に掲載します。

皆さまのご応募、お待ちしております!!

ガスファンヒーター&
島根県の特産品詰合せ

最優秀賞



※賞品の写真はイメージです。実物と異なる場合、または商品が変更となる場合がございますのでご容赦ください。

【お問合せ先】 くにびき地区本部 生活福祉部 生活燃料センター ☎0852-36-9270

自動車センターからのお知らせ

今月の特選車

※すでに売却済みの場合はご容赦下さい。

スバル サンバートラック 4WD

(年式)平成13年式
(走行)48,600km
(車体色)白 5MT AC付
(車検)車検整備渡し
(車両本体価格)

300,000円(税込)
(諸費用別途)



ダイハツ ミライース 4WD

(年式)平成23年式
(走行)69,900km
(車体色)スカイブルー AT
(車検)平成30年11月まで
(車両本体価格)

550,000円(税込)
(諸費用別途)



お問い合わせ先

くにびき地区本部 生活福祉部 自動車センター
TEL: 55-3077

訂正とお詫び

平成28年12月配布の「JALしまねくにびき地区本部平成29年度版カレンダー」の内容について、一部誤りがありました。訂正してお詫び致します。正しい内容につきましては、下記の通りです。

【誤】自動車センターサービスデー
9月23日、12月23日、
12月30日



【正】休業

10月 くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・備考
5	木	税務相談会	津田支店 TEL: 24-1818 10:00~12:00
6	金	税務相談会	中原出張所 TEL: 21-2567 10:00~12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までお願いいたします。予約先:開催会場となる支店まで。

○くにびき地区本部金融部ローン営業センターでは、毎週土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談会を開催しています。要予約。

◆お問合せは☎0120-988-380まで。

10月 ふれあい訪問日

10月18日(水)、19日(木)

農業者年金へは、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます

- 国民年金第1号被保険者
国民年金保険料納付済者等
- 年間60日以上農業に従事
- 60歳未満

●あなたの老後生活への備えは十分ですか？
●年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
●老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

途中脱退、再加入も可能です

農業者年金

で安心して豊かな老後を！

2 若年層には手厚い政策支援 (保険料補助)

加入前
後継者を早く独立させたいなあ

加入後
早い時期から加入させて良かった！

●国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、
●39歳までに加入
●農業所得が900万円以下
●認定農業者で青色申告者等を満たせば受けられます

農業者年金 6つのポイント

- 積立て方式で安心
- 加入・脱退も自由
- 保険料は全額社会保険料控除
- 保険料はいつでも変更できる
- 農業の担い手には保険料補助
- 終身年金 80歳までの死亡一時金あり

1 女性に優しい！奥様も単独で入れます。

加入前
夫のみ加入の場合

加入後
夫婦で加入の場合

●女性農業者の長い老後をしっかりとサポートします！
●自らの力で老後に安心を！

家族経営協定で保険料補助も

3 税制面で大きな優遇 (ライフプランへの投資効果)

加入前
今年は収入が良かったけど税ってこんなにかかるの？

加入後
保険料を控除できて助かるなあ

●支払った保険料の金額が社会保険料控除の対象となります

詳しくは…

農業者年金基金



<http://www.nounen.go.jp>

独立行政法人 農業者年金基金 TEL: 03-3502-3199 (相談員) TEL: 03-3502-3942 (企画調整室)

※農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会やJAしまね各地区本部または農業者年金基金にお問い合わせください。

—JA共済からのお知らせ—

住宅等の建物修理に関するトラブルにご注意ください

見慣れない修理業者からの
こんな言葉・・・



(共済(保険)をつかって)
“自己負担ゼロ”で
リフォームができます!

このような勧誘にはご用心ください!
最近、このような業者からの被害が全国的に増加しています!

こんな言葉にご用心!

「お宅の屋根瓦、ゆがんでいますよ。このあいだの台風被害による損傷ですから、共済金(保険金)の支払対象になります。後で共済金(保険金)が支払われるので、お客様の自己負担はかかりません!! このマニュアルどおりに、JAに請求すると共済金が支払われます。もし請求の手続きが面倒であれば、手続きも代行いたしますよ。」

もし、このような業者が来たら、まずお近くの支店までご相談ください。

JAの建物更生共済では、自然災害による被害についてはお支払の対象となる場合があります。支払該当の可否や損害査定についてはJA共済の担当者が調査・査定を実施し、迅速に対応いたします。



あなたもチャレンジ!

家庭菜園



取れ立ての 新鮮な味が格別な サヤエンドウ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

栽培管理が楽で、失敗も少ないサヤエンドウ。店頭売りでは得られない新鮮さが魅力で、家庭菜園にはぜひ取り入れたい野菜です。

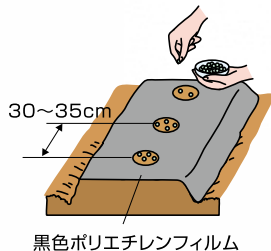
カロテン含有量が多く、分類は緑黄色野菜。ビタミンC、食物繊維も豊富。使い道はサラダや汁の実、煮物にと広く、飽きずに重宝します。育て方のポイントを列挙します。

- (1) 連作畑を避ける。
- (2) まきどきを誤らない。
- (3) 冬に株が風で振り回されないよう仮支柱、風よけを設ける。
- (4) 伸びだしたつるがよく絡むよう、しっかりした支柱を立てることなどです。

サヤエンドウは野菜の中でも特に連作を嫌う性質があります。4～5年はサヤエンドウを作ったことのない畑を選びましょう。

種まきの適期は関東南部以西の平たん地では10月20日前後ですが、これより寒い地域では少し遅く月末ぐらい、暖かい地域では少し早くまくぐらいに差をつけましょう。寒い地域で早まきすると、大きく育ててから厳しい寒さに遭うため寒害を受けやすくなります。地域の慣行をよく調べてください。

サヤエンドウは茎葉が柔らかく、越冬中に株が風に振り回され、茎が折れたり枯死したりしやすいので、草丈が15～20cmに伸びたら短い支柱を交差させて立て、株を固定したり、畝に沿って稲わらを半折れに



黒色ポリエチレンフィルム

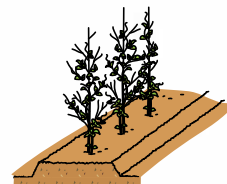


発芽し伸び始めたら2本を残して他は間引く

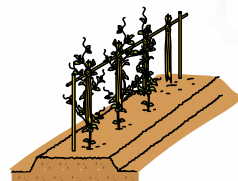
し、下方を土に埋め、簡単な風よけを作ったり、べた掛け資材で覆ったりして寒風から守ってやります。

越冬後草丈が20～25cmぐらいになる頃には巻きひげも出るので、早めに支柱を立て、これに絡ませるようつるを誘引してやりましょう。支柱材としては、細枝のたくさん付いたサヤや、子枝の付いた木の枝などが最良ですが、入手できない場合は、木杭に横竹を渡し、所々に稲わらを小束にしてつるす方法、それらがなければ果菜用の支柱材を立て、横に3段ほどプラスチックひもを渡したり、キュウリの誘引ネット（網目15cm）を取り付けるなど、いろいろ工夫してみましょう。

肥料分は多くは必要ないので、前作に野菜を育てた畑なら、越冬前に畝に沿って軽く溝を作り、1株当たり化成肥料大さじ2杯ぐらい、本支柱を立てた後に、畝の反対側に同量を施し、土を盛り上げて畝を形作るぐらいで足りるでしょう。



竹サヤや木の枝のつるを絡ませる



支柱を立て、稲わらをつるし、つるを絡ませる



ハモグリバエの幼虫の加害

薬剤散布

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

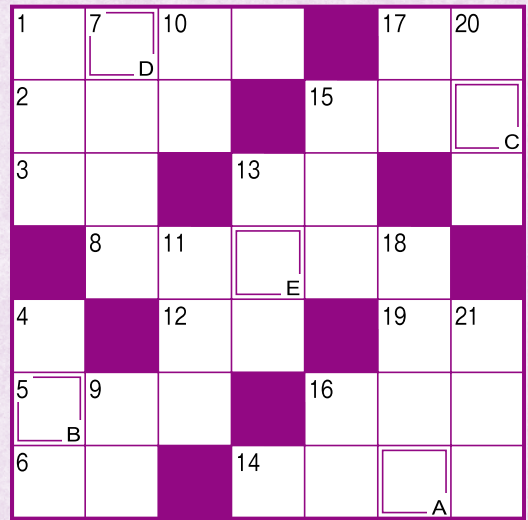
タテのカギ

- ① くるくるとカールした髪
- ④ ふすまや障子はこの上を動かします
- ⑦ 電車の中にぶら下げられています
- ⑨ くらを置いて乗ります
- ⑩ 自分の娘の夫のこと
- ⑪ ——に無勢だ、勝てないなあ
- ⑬ せき止めに良いといわれるバラ科の果物
- ⑮ 車を止めて——ブレーキを引いた
- ⑯ スズシロはダイコン、スズナは
- ⑰ 黄色い貴金属。元素記号はAu
- ⑲ 競技などを途中で棄権すること
- ⑳ 眠るときに着る物
- ㉑ 猫に——＝豚に真珠

ヨコのカギ

- ① 唱歌『虫のこえ』で最初に出てくる虫
- ② 江戸——はガラスをカットして作られる工芸品です
- ③ よく内科と対比されます
- ⑤ マタタビ科の果物。鳥の名にちなんで名付けられました
- ⑥ リビングともいいます
- ⑧ 季節によって住む場所を変える鳥
- ⑫ 箸を数えるときに使う言葉
- ⑬ 舟をこぐ道具
- ⑭ こしあんと——、どちらが好き?
- ⑮ 秋においしい魚の代表格
- ⑯ 牛などに食べさせる牧草のこと
- ⑰ 臼と一緒に働きます
- ⑲ 吸盤がたくさんある海の生き物

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?



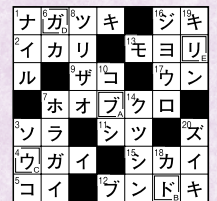
答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成29年10月5日(木)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆ 「ブドウガリ」



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

食欲の秋

秋を表す言葉に「食欲の秋」があります。なぜ秋に食欲が増すのか：それには様々な要因があると言われています。

○日照時間

精神の安定を保つためにセロトニンという脳内神経伝達物質が関わっています。この分泌量と関係しているのが日照時間と食事です。夏から秋になると日照時間が短くなりセロトニンの分泌量が減少してしまうので、それを食事で補おうとして食欲が増すと考えられています。

○基礎代謝の変化

秋から冬にかけて気温が下がると、基礎代謝が上がります(エネルギーを消費して体温を保持しようとして)。基礎代謝が上がるということはそれだけ多くのエネルギーが使われるため、その分を補給しようとして食欲が増すようになります。

○夏バテの解消

暑さによる夏バテで食欲が低下してしまう方が多いです。秋になり過ごしやすいく気温になると、夏バテも解消し本来の食欲が回復します。夏バテになっていた時期と比べると食欲が増したように感じるのだと考えられます。

その他にも、「冬を越えるため、動物は本能的に体に多くの栄養を取り込もうとする」、「秋はおいしい食べ物が増え、ついつい食べてしまう」など様々な理由があり、こういったことから「食欲の秋」につながったのではないのでしょうか。

食べ過ぎで肥満に…ということには気をつけたいので、「よく噛んでゆっくり食べる」、「夜遅くに食べないようにする」、「野菜から先に食べる」、「運動等でこまめに体を動かす」等の工夫をしつつ、おいしいものを食べて秋の味覚を楽しみましょう。

理事会情報 (7月31日開催)

協議事項

- ① 平成30年度島根県農業政策および予算に関する要望(案)について
- ② 平成29年7月島根県西部豪雨災害の農業被害に対する復興対策の実施について
- ③ 平成29年度産島根米の諸区分(栽培・品質)、諸格差設定の考え方について
- ④ JAしまねにおけるGAP取組み方針について
- ⑤ 平成28年度期末決算 監事監査報告書 整備改善を要する事項(個別意見書)への回答書について
- ⑥ 平成28年度JA全国監査機構決算監査 内部統制等に関する改善指示事項の回答書について
- ⑦ 個人情報保護法改正に伴う個人情報保護方針等の一部改正について
- ⑧ 組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑨ 子会社への役員員の派遣について
- ⑩ 系統団体および関連団体等への常勤役員の就任について
- ⑪ 総代選挙実施にかかる選挙管理者・選挙立会人等の指名について

報告事項

- ① 第1回活力ある島根農業・農村振興連絡会議の報告について
- ② 平成29年度果樹経営支援対策事業の申請状況について
- ③ 県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告(第1四半期)について
- ④ 農業簿記記帳代行料金の統一について
- ⑤ 山陰ブロックTACパワーアップ大会の開催について
- ⑥ 米穀園芸情勢について(園芸重点5品目の推進)
- ⑦ アワヨトウの発生・被害状況の報告について

- ⑧ 雲南畜産総合センター第1四半期報告について
- ⑨ 県央地区畜産総合センター第1四半期報告について
- ⑩ 畜産情勢について
- ⑪ 肥料・原料情勢について
- ⑫ 第7回農機総合展示会実績・第10回島根県中古農機大展示会の開催について
- ⑬ 平成29年7月島根県西部豪雨災害被災者に対する災害対策農業資金の対応について
- ⑭ 平成29年度第1四半期における余裕金の運用状況について
- ⑮ 組合と理事との取引(契約)の報告について
- ⑯ 平成28年度認定反社会的勢力の定期報告について
- ⑰ 平成29年7月島根県西部豪雨災害にかかる報告について
- ⑱ 購買店舗における不祥事の再発防止策について
- ⑲ 平成29年度第1四半期決算(6月末)について
- ⑳ 特別損失にかかる会計処理について
- ㉑ 小水力発電所工事の入札について
- ㉒ 子会社等に関する各種報告について
- ㉓ 固定資産の取得と特定財産の活用について
- ㉔ 平成29年度6月末組合員の加入及び脱退の状況について
- ㉕ 総代会および地区本部総代説明会における主要意見等について
- ㉖ 労働組合からの夏期要求妥結結果について
- その他① 農政をめぐる情勢について
- その他② 青年・女性理事活動報告等
- その他③ 農林水産省経営局公表の「農協の自己改革に関するアンケート調査」(結果)について

知って納得JA
—協同組合の力—

Q JAの組合員って何をすればいいの?

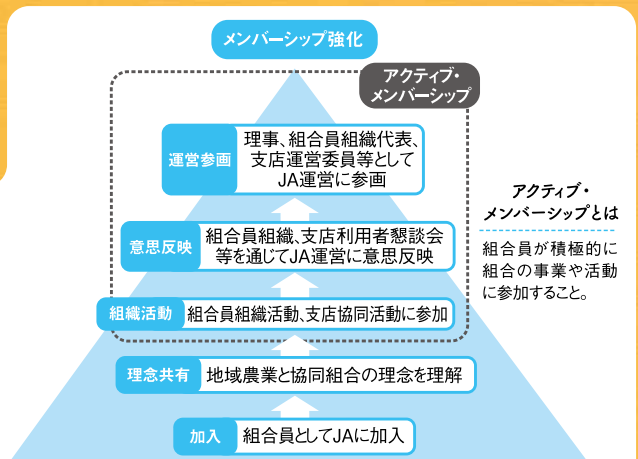
A JAの事業と活動に積極的に関わり、元気なJAを築くことが大切です。

JAは願い(課題やニーズ)を共有する組合員が集まって、組合員自らが事業と活動を通じて願いをかなえることを目的とする協同組合であり、組合員がJAの主人公です。

また、JAの主人公である組合員は、みんなで話し合っ て決めたことを実行し、組合員組織に参加して活動を活 発化するなど、組合員相互の発展のために重要な役割 を担っています。組合員はJAの運営に積極的に関わら るとともに、仲間づくりに努め協同の輪を拡げましょう。

JAグループでは第27回JA全国大会でアクティブ・メ ンバーシップの運動を決議しました。組合員が元気な主 人公となることで、より元気なJAを築きましょう。

(監修=広島大学 助教 小林元)



アクティブ・メンバーシップとは
組合員が積極的に
組合の事業や活動
に参加すること。

組合員の役割

みんなで決めたことを実行する。

組合員組織に参加し活動を活発化する。

JAの運営についてすすんで発言し、建設的な提言をする。

家族ぐるみでJA事業を利用する。

仲間づくりに努め、協同の輪を広げる。

耕そう、大地と地域のmiraい。

JAしまね組合員様限定 足立美術館 優待プラン

入館料金(大人1名様)

通常 2,300円 → **1,500円** (税込)

特別割引券をご用意しております。
ご希望の方は最寄りのJA旅行センターにご依頼下さい。

14 YEAR 日本庭園が米誌ランキングで
14年連続日本一に選ばれました

★ ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン
三つ星として掲載されました

■大人1名様／通常2,300円の入館料が1,500円にてご入館いただけます。

(高校生／通常1,000円→700円・小中学生／通常500円→300円) ※ご利用対象はご本人様及びそのご家族とさせていただきます。

秋季特別展 平成29年 8月31日(木)～11月30日(木) 制定80年記念 文化勲章受章の作家たち

文化勲章の制定80年を記念して、当館コレクションの中から横山大観、竹内栖鳳、上村松園をはじめとする日本画家に彫刻家の平櫛田中を加え、19名の文化勲章受章作家の作品を一堂に展示します。



横山大観「紅葉」(左隻・昭和6年)



上村松園「待月」(昭和19年)

新館 再興第102回 院展

会期：平成29年10月14日(土)～11月5日(日)

平成29年10月12日～13日、11月6日～7日
平成30年2月7日は、展示替えのため新館のみ休館。

足立美術館
ADACHI MUSEUM OF ART

[プラン有効期限]平成30年3月31日まで

JR安来駅より無料シャトルバスあり。ダイヤはホームページでご確認下さい。 <http://www.adachi-museum.or.jp/> **Tour** 株式会社農協観光

JAしまねくにびき旅行センター ☎0852-55-3041
JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699
JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118

JAしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305
JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625
JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501

JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008
JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820
JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587



秋の農作業安全月間

一人ひとりの **安全意識** と
仲間との **「声かけ」** が農作業事故を防ぎます。

こんな事故が
起こっています！

◆トラクターによる事故



トラクターが転倒・転落し、投げ出されて機体の下敷きになった…など

◆高所での作業中の事故



脚立での作業中、設置時のバランスが不安定だったり天板上に上がった際に転落して頭を打った…など

◆耕うん機・コンバインによる事故



耕うん機をバックさせていたところ木と機体の間に挟まれた、コンバインの手こぎ作業で手を巻きこまれた…など

◆草刈り時の事故



草刈り機の使用中に足を滑らせて足を切る、夏の屋外の作業で熱中症になる、雑草を燃やして火にまかれた…など

2017

農業技術センターフェア

楽しく学ぶ・おいしく味わう 島根の農業

- [と き] 9月23日(土) 9:30~14:30
- [ところ] 島根県農業技術センター (出雲市芦渡町2440)

★研究展示・セミナー

- ・米の1.9mm選別やブドウの新品種についてのセミナーと試食
- ・新技術等の各種パネル展示、生産物の現物展示
- ・栽培技術相談
- ・玄米の食味値測定 (1人2点まで:1点につき玄米200g)
- ・電動ラジコン式草刈機 (新型) の展示

★お楽しみイベント

- ・野菜収穫体験
- ・ビンゴ大会 (農産物の景品があるよ!)
- ・クイズラリー (賞状、景品あり)
- ・キッズコーナー (DNAストラップ、スライム、カボチャの顔づくり)
- ・出雲農林高校太鼓部の演奏
- ・ふれあい動物園

★農産物・加工品販売

- ・職員が丹精込めて作った果物、野菜、花等の販売
- ・地域の特産物販売 (農・畜産加工品)

果物の
販売整理券は
当日8:30から
配布



■ お問合せ ■

☎0853-22-6708 島根県農業技術センター

2017 ぶどう収穫感謝祭 SHIMANE WINERY

ワインまつり



年に1度の大会!

楽しい、おいしいがいっぱい!!

10/14(土)・15(日) 開催
10:00~17:00 9:00~16:00

2日間先着 計1,500食限定

ワインまつり特別
バーベキュー
BBQ
特別価格 **500円** (税込)
一人前

島根和牛・
豚肉・おにぎり・
野菜のセット
ソフトドリンク
飲み放題

バーベキューハウス
シャトー 弥山



その他イベント盛りだくさん!

*都合によりイベントの内容、時間を変更する場合がありますのでご了承ください。*お酒は20歳になってから。*飲酒運転は法律で禁止されています。



島根ワイナリー TEL 0853-53-5577

詳しくは 島根ワイナリー

検索

島根県出雲市大社町菱根264-2

コリンキーサラダ



コリンキーは2002年に品種登録された生で食べられる黄色いかぼちゃです。使い慣れない野菜なので簡単なサラダにしています。くせがなく食べやすいです。炒め物、煮物、天ぷら、フライ、漬物としても食べられます。

●材料（4人分）

コリンキー……………1/2玉
パプリカ……………1/4玉
ツナ缶……………1/2缶
マヨネーズ……………大さじ4
黒粒こしょう……………少々

●作り方

- ①コリンキーは洗い、半分に切りスプーンで中の種をきれいに取り除く。（皮はむかない）
- ②コリンキーを皮ごと千切りにする。パプリカは種を取り除き、縦半分に切り繊維にそって薄切りし、長さを半分に切る。
- ③ボールに、コリンキー、パプリカ、油を切ったツナ缶、マヨネーズ、黒粒こしょうを入れ、食べる直前に混ぜ合わせる。

秋なすグラタン



市販のミートソースを使い簡単に出来るグラタンです。味付けはミートソースのみでおいしいです。

●材料（4人分）

長なす……………2本 ピザチーズ……………適量
ミニトマト……………8個 パン粉……………少々
ゴーヤ……………1/2本
サラダ油……………少々
ミートソース……………1袋（市販品）

●作り方

- ①なすは1～2cm厚さの斜め切りにし、水にさらしてあく抜きし、フライパンに油を入れ両面を軽く焼く。
- ②ミニトマトは1/4に切る。
- ③ゴーヤは0.5mmの輪切りにし種をぬく。
- ④グラタン皿になす、ゴーヤ、ミニトマトを入れ、ミートソースをかけ、ピザチーズを乗せ、パン粉をふる。
- ⑤オーブントースターで8分ぐらい焼くか、オーブン220℃で15分焼く。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は、コウノトリ写真集（写真提供者：太田和良さん・井上誠さん・菅田祐治さん）の一部を使用させていただきました。今年3月に雲南市大東町で巣や産卵を確認しました。野生のコウノトリが国内で姿を消して以来、野外でのふ化は豊岡市周辺などを除くと、徳島県鳴門市に続き2例目。

編集後記

今月の料理レシピで使用している「コリンキー」というかぼちゃ。2002年に品種登録されたそうで、料理をしない私は知りませんでしたが、皆様はご存じだったでしょうか。土井先生によれば、県内のスーパー等でも普通に出回っているとのことですので、見かけた際にはぜひ作ってみてください。（藤）



【今月の表紙の原画】
原画の全体は次のとおりです。